



研究部会報告

●ファジィ動的計画法●

日 時：平成8年11月25日(月) 18:00~20:00

出席者：7名

場 所：EDCビル会議室

テーマと講師：

(1)「視察特性を利用したあるアルゴリズム」

正道寺 勉 (日本工業大学)

画像の圧縮プロセスはデジタル化、(標本・量子化)、情報源符号化、通信路符号化などのプロセスで構成されている。本研究では、あらかじめ決められた画像の符号容量以下で画像圧縮を行わなければならないとき、ノイズを視覚的に減少させ、限られた範囲の中でより高品質な画像圧縮を実現するためのアルゴリズムの開発を目的としている。それはJPEGアルゴリズムのうちの離散コサイン変換方式に関するものである。

●評価のOR ●

・第20回

日 時：平成8年12月7日(土) 13:30~17:20

出席者：約100名

場 所：工学院大学新宿校舎

テーマと講師：

(1)「DEAによる公営企業の業績測定—わが国水道事業の実例—」

会田 一雄 (慶応義塾大学)

わが国水道事業を対象に、包絡分析法の一類型として最近開発されたレンジ補正型加法モデルの有効性について報告された。事業体の分類の必要性、技術効率性とコスト効率性の分離、ストックとフローの扱い方などが論じられた。

(2)「階層的意志決定法によるわが国製造メーカーのアジア各国における経営環境評価」

中村 達生 (東京大学)

東アジア地域における製造企業の経営環境を階層的意志決定法(以下、AHP)を用いて定量的に評価した結果が報告された。投資目的、評価単位(国か地域か)、一対比較か絶対比較か、フィードバックグループの作り方などが論じられた。

(3)「DEAの完全な基礎」

渡辺 伸輔, 末吉 俊幸 (東京理科大学)

規模の効率性(RTS)を見る尺度と定式化が示された。退化があるときのRTSの一意性、不連続性、価格と入出力との相互依存性などが論じられた。

●イノベーション●

・第8回

日 時：平成8年12月7日(土) 17:30~20:00

出席者：6名

場 所：中央区新富 ワークス・サポートセンター

テーマと講師：「日本の防衛のイノベーション」

上田 亀之助 (上田イノベーション研究所)

冷戦の終結、アジアの目覚ましい経済成長等と世界の情勢は大きな変化を続けています。日本を守るためだった日米安保もその本質がアジアの安定のための中心的な存在と形を変えてきました。それに伴い、自衛隊による日本の防衛も新しくそれに対応したものに変わる必要があります。

会 合 記 録

12月5日(木)	表彰委員会	9名
12月18日(水)	論文誌編集委員会	4名
12月19日(木)	研究普及委員会	13名